



シリーズ：沖縄のさかなたち 第5回

ヒメフエダイ



ふーちゃんのトピックス

さけがおおきくなるまで でまえ～出前授業を行いました～



ふっくんのなんでもコーナー

魚の種類はどれくらいありますか？

ヒメフエダイ

～フエダイの仲間では最高級魚～



写真1. ヒメフエダイは成長するとこどもと違って赤色が特徴（全長 30 センチ）

ヒメフエダイは、本州より南の太平洋からインド洋の暖かい海に住んでいます。沖縄県では「ミミジャー」と呼ばれ、フエダイの仲間では最も高級な魚として売られています。

ヒメフエダイはきれいな赤色（写真1）ですが、こどものときはうすい緑色で尾びれの前に黒い点があります（写真2）。英

語では Humpback Snapper（ねこ背のフエダイ）と呼ばれ、頭から背中にかけて急に盛り上がっている姿が、まるでねこ背のように見えることから名付けられたのでしょう。

卵から生まれた赤ちゃんのころはしば

らく沖の浅いところをただよって生活しています。だんだん泳げるようになってくると、5月から10月の新月の時に沖から岸に近寄ってきます。そして、岩のようなくぼみが多くデコボコしたハマサンゴ（写真3）を見つけて自分たちの住み家とします（表紙）。ヒメフエダイは自分よりも大きなさかなにおそわれたときに、このくぼみに身を



あんじいの
ワンポイント
アドバイス

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

さかなたちや海を守る

沖縄県石垣島には、魚や貝類やサンゴ礁などの生き物を守っている「保護水面」と呼ばれる場所があるんじや。そこでは、住んでいる生き物たちをとったり、傷つけたりすることはいけないことで、違反すると罰があるのだ。さかなたちや海を守るためには、「保護水面」のほかに魚をとるルールを決めた「漁業保護区」やきれいな景色を守る「海中公園」などがあるのだよ。


→ 沖縄県石垣島の川平湾「保護水面」（赤枠の中）。ここでは、シャコガイの仲間（「チェック」）などが保護の対象です





写真2. ヒメフエダイのこども

かくして食べられないようにしていると考えられています。こどもたちは安全な住み家がどのようなところで、そこへ行くにはいつごろがよいのかが生まれつきわかっているのかもしれませんがね。

全長10センチぐらいまではハマサンゴのまわりでくらし、大きくなるにつれて少しずつ沖に移動し、20センチぐらいになるとさらに沖の深い場所に住むようになります。25センチをこえるころから、釣りなどでとられます。

ヒメフエダイはオスの方がメスよりも大きくなります。大きいものでは全長は40センチ、体重は1キロにもなり、20年も生きるといわれています。

なんせいしょうとう
南西諸島では、最も人気が高い甘口しょ




写真3. 全長10センチのヒメフエダイが住み家として好むハマサンゴ

う油の「煮付け(写真4)」や沖縄の代表的な魚料理の「マース(塩)煮」で食べます。

身はあっさりとした甘みがあり、和食はもちろん洋食や中華料理でもとてもおいしい魚です。

水産総合研究センターではサンゴ礁しょうに生活しているヒメフエダイをはじめ、フエダイの仲間がどのような生活をしているのかを調べ、これからもずっととれるよ

うにするためにはどうやって海を守ればよいのかを研究しています( 「あんじいのワンポイントアドバイス」)。

(文：よせだけんぞう 與世田 兼三、写真：ななみあつし 名波 敦)

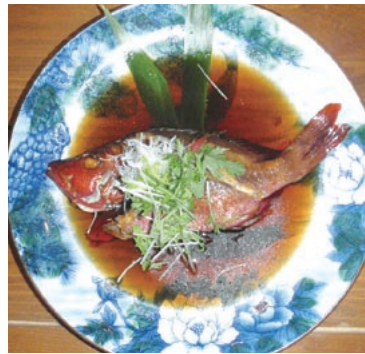
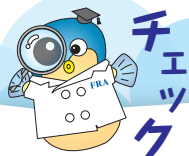


写真4. ヒメフエダイの煮付け
(写真提供：居酒屋まるさ)



チエツク

保護水面で守られている生き物たち



シャコガイの仲間たち

開いた貝の色やもようがカラフルです



サンゴとその仲間たち



ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

さけが おおきくなるまで

～^{でまえ}出前授業を行いました～

さかなや海、川のことを知りたいという声にお応えして、水産総合研究センターでは「出前授業」という学習会を行っています。今回は、一日先生としてさけの研究者が、東京都の小学校2年生のクラスにおじゃましました。さけが卵から生まれどのように大きくな



るのかなどをお話しました。また、見た目も、重さも本物そっくりのさけの模型をひとりひとりに手で持ってもらいました。「どうしてこんなに歯が鋭いの?」、「何を食べているんだろう?」などとすがたや重さに感心したり、質問したりとみなさん大喜びでした。

今号は東京都の小学6年生からの質問です

ふっくんの なんでもコーナー

どんどん質問してね。
ぼくが答えるよ!



Q 魚の種類はどれくらいありますか？

A 世界中の海や川、湖にいる魚は、25,000～30,000種類といわれてます。そのうち日本には、およそ4,000種類の魚たちが住んでいるんだ。川や湖にはアユやヤマメ、コイなどが、海にはマダイやヒラメ、ブリ、クロマグロ、メカジキなどがあるよ。ぼくたちがふつうに食べているのは、そのうち200～300種類といわれているんだ!

川にいる魚



アユ

コイ

ヤマメ

海にいる魚



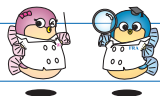
マダイ

ブリ

メカジキ

ヒラメ

クロマグロ



ふーちゃん(左)とふっくん(右): あんじい仙人のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 No.32 (2009年12月発行)

編集・発行: 独立行政法人 水産総合研究センター
お問い合わせ先・質問のあて先: 広報室
〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3
クイーンズタワーB 15階
TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702
ホームページ <http://www.fra.affrc.go.jp>

さかなやエビ、カニなど水産の動物や海藻でわからないことがあったら、^{かいまろ}広報室までハガキで送ってください。<聞きたいことの内容>、<学年あるいは所属>、<住所>、<氏名>を忘れずに書いてね。ふっくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



サンゴ礁を住み家としているヒメフエダイのこどもたち